

独創的手法と発想で 人と地球に優しい商品を

海外発注可
期相
企画力
自信有
コスト
相談
オンライン
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



一充電走行距離587.3kmを記録した「550rEVolution」

業務内容
車両ごとの特性を見極め
省エネを実現

現在、主に電気自動車の設計・開発を行っているTGM Y。大手自動車メーカー等から電気自動車の開発を依頼されることもあるという同社は、臨機応変な対応力と技術力を有している。車両ごとの特性を見極めた設計により、最大限の省エネルギーを実現させているのだ。

省エネルギーの実現に重要なのは走行抵抗を減らすこと。車体のデザインによる空気抵抗だけでなく、自動車には削減するべき抵抗が多数ある。モーターからタイヤまでにある動力が遷移する際の摺動において、多くの抵抗がエネルギーを奪っている。それを一つひとつ丁寧に削ぎ落とせば、全体として大きな省エネルギーにつながるのだ。

主力商品
一充電走行距離
587.3 kmを記録

同社が開発をした電気自動車「550rEVolution」は、平成23年10月3日、一充電走行距離587.3 kmを記録した。これを可能にしたのは同社が持つ抵抗を減らす技術はもちろんだが、それに加え限られた車体の各所に長距離走行を可能とする多くの電池を積み込むレイアウト技術も存分に活かされている。

強み
独創的な手法と
発想が強み

同社の一番の強みは独創性だろう。「ないものは造る・ないものを創る」が同社のモットー。独創的手法でさま

ざまなニーズに対応し、独創的発想で新たなシーズを提案するという。さらに注目すべきは作業の迅速さだ。ガソリン車を電気自動車につくりかえる作業を2か月前後で終えてしまうというから驚きだ。芦田社長が趣味でオフロードバギーを製作したのは昭和45年。自動車製作に関わって40年超の経験の中で積み重ねた試行錯誤が、開発スピードを向上させ、かつ高性能な製品開発を支えているのだ。

今後の展望
超小型電気自動車で
EV普及に貢献

常に将来を見据えている同社は、電気自動車普及への第一歩として超小型EV用プラットフォームを開発。日本人の自動車利用状況は、1〜2人の少人数で近距離を移動するケースが多いという。それならばと、小型電気自動車の製造に注力。未だ電池が高価なため多くは搭載できず、長距離の走行に不安が残る電気自動車でも、近距離移動用の電気自動車であれば安価で提供できる。小型車を皮切りに、電気自動車の普及を進めていく考えだ。

今後は、超小型モビリティを一般道路で走行できるようにする法律も整備されるという。それを受け、同社でも、超小型電気自動車用プラットフォームの成熟と宣伝、さらには広報活動を展開していく予定だ。



多様な車体形状に対応できる汎用性の高さが自慢

COMPANY PROFILE

株式会社 TGM Y

大阪 24

当社の
歴史

平成17年に、設計・開発でものづくりのお手伝いをしたいという思いでTGM Y technoを創業。大手菓子メーカーの販売カートの開発・設計・試作を始めたのを機に株式会社TGM Yを設立しました。その後、単3乾電池を動力とする電気自動車を企画・開発し、走行速度105.95km/時を達成。ユニークな試みを提案しつつ、3〜5年先を見据えて開発を続けています。

趣味で自動車の開発を始めて40年余。
その間に築き上げた人脈がわが社の宝です。

代表取締役 芦田 隆さん



■主な事業内容

電気自動車の委託開発
業務、電気自動車用機
材の開発・製造・販
売・開発支援業務等

■主な取引先（納入先）

自動車メーカー、関連部品
メーカー、自動車開発会社、
電機メーカー、工業製品メー
カー、研究機関・大学等

住 所／〒547-0031

大阪市平野区

平野南1-8-11

T E L／06-4302-3367

F A X／06-4302-3368

創 業／平成17年3月

設 立／平成18年8月

資本金／1,000万円

従業員／3名

<http://tgmy.jp/>